

“第67回日本病院学会” in神戸 に参加して



地域医療連携室 課長補佐 三谷 直紀

7月20日(木)、21日(金)の2日間にわたり、神戸国際会議場および神戸ポートピアホテル(神戸市)で、第67回日本病院学会が開催されました。当院からは院長をはじめ、医師、看護師、リハビリスタッフ、臨床工学技士、臨床検査技師、放射線技師、薬剤師、医療事務部事務員など、多職種総勢17名で参加しました。

本学会のテーマは『医療人育成ルネサ



ンス』で、“臨床の現場に求められるのは、ただ単に知識や技術のみを持った医療技術者でなく、同時に医療のプロとして患者に寄り添う心と覚悟を兼ね備えた医療人であり、医療技術者の養成から真の医療人育成へともう一度立ち返ろう”というメッセージが込められています。

4つの特別講演、14のシンポジウム、741題の一般演題を通じて、活発で有意義な議論が交わされました。演題の多くは多職種連携に関するもので、当院からは一般演題10題、ポスター2演題の発表と、2つのセッションにおいて、一般演題の座長を務めています。入念な準備や日頃の経験をもとに、参加者は存分に責務を果たすことができました。

特別講演の中で、内藤嘉之学会長は、病院における人材育成のポイントは、診療機能を支える人的資源の育成であると

述べられました。相澤孝夫日本病院会会長は、少子高齢・人口減少社会の到来、変わりゆく社会情勢や医療政策によって、病院を取り巻く環境が変化することに触れています。また、医療界が直面する高齢者医療の問題とは、要支援・要介護の高齢者を対象とする医療需要が増加することであり、従来型の急性期医療では解決できないとの指摘が印象的でした。

変革時代における病院経営のあり方、今後の病院ビジョンや業務にとって、大いに参考となる講演を聴講することができました。

今回この貴重な学会への参加を提案してくださった山本院長、留守を務めていただいたスタッフの方々に深謝します。学会で学んだことを今後の業務へ還元させていくことが皆さんへの恩返しになるとの思いで、日々努力してまいります。

関連事業室の業務

—“お昼ご飯”ちゃんと食べてますか?—

用度課 課長補佐 兼 関連事業室 室長補佐 藤堂 竜也

関連事業室はコンビニエンスストア(売店事業)と食堂事業を行っています。コンビニエンスストアはセブン・イレブン・ジャパンとフランチャイズ契約を結び、当院の事業として病院の西口玄関横に開店しました。現在、2年あまり経ちましたが、開店当初より患者さんをはじめ、多くのスタッフにご利用いただいております。

院内店舗の特色を活かしつつ、ニーズにあった商品、新しい話題の商品を多く取り揃え、くじ引きや行催事のコーナーを設けるなど、魅力ある売場となるよう心掛けております。尚、ご希望の商品のリクエ

ストがございましたら迅速に対応させていただきます。

セブン銀行ATM、切手や葉書、レターパック、印紙の販売、公共料金支払い・収納代行サービス、宅配便の発送受付、iTunes、Lineカード等のPOSAカードの販売など、狭小店舗ではありますが、コンビニエンスストアの機能を備えています。また、7階食堂内に売店を併設しており、入院に必要な日用品や介護用品、医療品を取り扱っています。

これからもコミュニケーションを大切にし、皆様に愛される、笑顔あふれるお店づくりに努めてまいります。

食堂事業はN棟7階で一般食堂と職員食堂を運営しています。前ホスピタルサービス(株)の業務を病院の事業としてスタートしてから5年余りが経ちました。営業時間は8:00~16:00(オーダーストップ15:40)、休日・祭日休業です。

数量限定の日替り定食は毎日早くに売り切れています。定食のほか、麺類、丼物、セットメニュー、軽食など30種類ものメ



7階食堂スタッフ、筆者は前列中央

ニューがあります。また、季節や旬に合わせた新メニューも開発しています。

この度、新しくセルフコーヒーを提供することとなりました。それに伴い、職員の方にも食事だけではなく、気軽に7階の食堂スペースを休憩や会議、打ち合わせに使っていただきたいと思います。

関連事業室は患者さんがゆっくり癒しを感じていただける環境と思いやりを提供します。食事は医食同源、活力の源です。スタッフの皆さんがお昼ご飯を楽しみ、リフレッシュし、活力をもって業務にあたるようサポートしてまいります。

~7階食堂メニュー 人気ベスト3~

- ① 鍋焼きうどん(受け継がれてきた変わらぬやさしい味が好評です。)
- ② 中華そば(好きな方は毎回食べる癖になる味です。)
- ③ 焼めし(隠し味に秘密があります。)



1階コンビニスタッフ